

市長定例記者会見報告事項概要(7月)

令和3年7月21日(水)午後1時30分～

1. 東京2020オリンピック・パラリンピックについて

- いよいよ明後日、7月23日(祝・金)に東京2020オリンピックが開幕する。
- 8月1日号の市広報の表紙とその次の特集ページは、オリンピック、パラリンピック関連の記事を掲載した。
- 特集では、オリンピック・パラリンピックに出場する防府市ゆかりの選手、誠英高校出身でバレーボール女子の奥村麻依(おくむら まい)選手、防府市出身で車いすバスケットボール女子の財満いずみ(ざいま いずみ)選手、防府読売マラソン大会5回優勝のマラソン女子(視覚障がいクラス)の道下美里(みちした みさと)選手の3人を紹介している。
- 同じく市広報で特集しているが、本市がホストタウンとなるセルビア女子バレーボールチームは7月16日(金)に来日し、現在、防府市で事前合宿を行っている。
- 優勝した世界選手権の事前合宿以来、3年ぶりとなる来訪に、チームのゾラン・テルジッチ監督からは「我が家に戻ったようだ」との嬉しいコメントをいただいた。
- ご協力いただいている全ての関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。
- セルビア女子バレーボールチームは、決戦に備え、7月22日(祝・木)、東京に向けて出発される。
- 市では、ホストタウンとしてセルビア女子バレーボールチームを応援するため、パブリックビューイングを実施することとし、実施に当たっては「静かな熱血応援」を展開する。

- また、オリンピックの開会式（7月23日（祝・金））以降、ルルサス防府において、大型テレビでオリンピック放送が視聴できる「2021年夏の思い出 防府スポーツシアター」が商工会議所の主催で開催される。

2. 「野島の日」の制定について

- 防府市唯一の有人離島である「野島」では、地元企業の運営する簡易宿所が整備され、野島にルーツのある方が主体となって集会施設を作られるなど、新たな活力の芽が出てきている。
- 今後、さらなる野島の活性化が実現できるよう、8月8日を「野島の日」として記念日を制定した。
- 今年の8月8日（祝・日）は、「野島の日」を制定して最初の記念日となることから、記念乗船券を販売する。
- オリンピック女子バレーボール決勝の日でもあり、初めての「野島の日」がセルビア優勝の日になればとも思っている。

3. 「輝き！ほうふプラン」概要版の小・中学生への配付について

- 今年度からスタートした第5次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」の概要版を、防府市内の小学6年生から中学3年生までの全児童生徒約4,000人に配付する。
- 子どもたちに、5年後、10年後のイメージ図を見ていただき、これからのまちづくりがどのように進むのかを知ってもらうとともに、防府に興味を持っていただき、将来、防府を支えてもらいたい、という思いを込めてお配りしたいと考えている。
- 新学期の最初の登校日であり、市制施行85周年を迎える日でもある8月25日（水）に配付することとしている。

4. ワクチンの接種状況について

- 7月20日（火）に、本市において360人目の感染者が確認された。
- 新型コロナウイルス対策に有効とされるワクチン接種について、本市では、防府医師会、防府歯科医師会、防府薬剤師会のご協力の下、順調に進んでいるところである。
- 今日現在、防府市における1回目の接種率については、高齢者の方の90.2%、12歳以上の接種対象者の52.8%、12歳未満を含めた全市民の47.7%となり、いずれの接種率も全国の接種率を大きく上回っている。
- 高齢者の方への接種については、7月末までに接種を希望される約31,500人への2回目の接種が完了する見込みとなっている。
- 高齢者も含めた接種対象者全体の接種については、7月末に約6割、8月末に約8割の方が1回目の接種を受けられる見込みであり、8割の方が接種を希望されるとすれば、9月中旬には希望する全ての方の2回目の接種が完了することとなる。
- 現時点で、集団接種会場の予約に空きもあるため、接種を希望される方で、まだ予約をされていない方がいらっしゃれば、早めに予約していただきたいと思う。

5. 富海海水浴場の開設等について

- サメの出没のため、7月3日（土）に予定していた富海海水浴場の開設を2週間ほど延期していたが、その後、サメの目撃情報がないことから、監視員を配置した上で、7月17日（土）から8月15日（日）まで海水浴場を開設する。

- 通称「メバル公園」（新築地町防災広場）については、オープン後最初の夏を迎え、熱中症対策としてミストシャワーを設置し、7月17日（土）から使用を開始している。

6. おわりに

- ワクチン接種は進んでいるが、コロナウイルス感染症対策は油断することなく、今まで通り継続する必要がある。
- このような状況の中、オリンピックはホストタウンの集大成となるため、コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じながら、市民を挙げて「静かな熱血応援」で、盛り上げていきたいと考えている。